

# さとやま通信

sa to ya ma つうしん

<Vol.21>

## 「里山の維持再生ゾーン」の実現に向けて

～市民協働による持続可能なまちづくりのモデルケースとして～

### 鹿背山の特産品・鹿背山柿(富有柿)の収穫を体験しました

～11月1日相楽台小学校3年生、11月21日木津川台小学校3年生が校外学習～

学研木津北地区のある鹿背山地区は、柿の産地としても有名です。

相楽台小学校および木津川台小学校の3年生が、校外体験学習として、この地区で、柿の栽培をしている「鹿背山の柿を育てるネットワーク」の協力を得て、柿収穫体験をおこないました。



### ■柿について学習

柿は、剪定せずに育てると、多く実る年と少ししか実らない年が交互に現れる「隔年結果」が出てきます。これを防止するためには、毎年きちんと剪定することが重要です。柿ネットワークでは、市内外から集まる会員により、栽培されていること等、松岡会長から説明がありました。

子どもたちは、熱心にメモを取り、説明を聞いていました。



### ■柿の疑問をきました

松岡会長からの説明の後、小学生たちが松岡会長に、柿の疑問について質問をしました。

Q:一本の木に何個くらいの実がなるのですか？

A:木により異なりますが、多い木には約500個実ります。

Q:柿は何年くらいで実がなりますか？

A:桃、栗3年、柿8年とよくいわれているとおり、柿は収穫できる木に成長するまで、長い年月を要します。この農園の柿で古いのは、私のお爺さんが植えた木もあります。



Q:柿作りで一番辛い仕事は何ですか？また嬉しい事は何ですか？

A:冬に剪定をするので寒くて辛いです。

嬉しいことは秋になって実がなって、皆さんが美味しいと言って食べてくれることです。

### ■柿の収穫体験・試食

柿の栽培方法等について学習した後、柿の収穫体験をしました。はじめ難しく感じた収穫も回数を重ねるごとに上手に収穫できるようになりました。



そしてお待ちかねの試食です。子どもたちが口いっぱいにほおばり、おいしいそうに食べる姿を見る柿ネット会員の皆さんの笑顔が、とても印象的でした。

## 第4回講座 鹿背山城城整備

### 鹿背山城何でも知ろう連続講座

これまでの講座で、鹿背山城について勉強してきました。

今回は、鹿背山城跡を整備します。

**とき** 2月9日(日) 午前9時～午後3時30分頃

※雨天の場合は、2月16日に延期

**集合** JR木津駅(午前9時)

**定員** 50人(先着順)

**対象** どなたでも参加できます。

**服装** 作業をおこないますので、汚れてもいい服装で参加ください。道具は主催者で用意します。

**持ち物** 弁当、水筒、軍手

**申込** 次のいずれかで申込み。

1. 当会ホームページ(<http://kizu1978.info/>)のメールフォームから申し込み。

2. ①氏名②住所③電話・Fax番号を記入して、Faxで次へ。

**問合せ** 岩井 Fax71-8131

**主催** 木津の文化財と緑の守る会

学研企画課 ☎75-1201